

株主の皆様へ

代表取締役社長

鵜澤 泰功

UZAWA YASUNORI



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第20期定時株主総会を2025年6月27日（金曜日）に開催いたしますので、ここに招集ご通知をお届けいたします。

第20期の連結業績について

営業収益75.6億円、営業利益14.0億円となり、増収増益を達成しました。

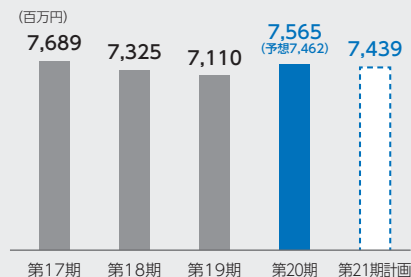
当期は市況が厳しいなかでも予想値を上回り、業績は回復し前期比で増収増益となりました。

なかでも主力の住宅金融事業は、フラット35市場が急縮小するなか商品多角化が進展し、過去最高益を達成しました。住宅瑕疵保険等事業は他社との差別化を進め、住宅かし保険のシェアが拡大いたしました。住宅アカデミア事業も保証サービス等が寄

営業収益 (連結)

第20期 75.6億円

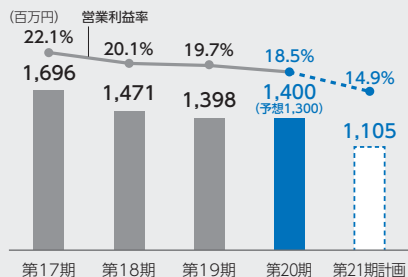
前期比 +6.4%



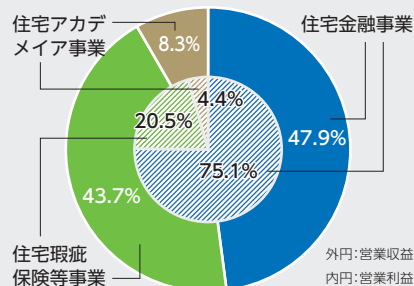
営業利益 (連結)

第20期 14.0億円

前期比 +0.2%



第20期 セグメント構成比



与し、グループ一体での住宅事業者の経営支援に注力いたしました。

経営戦略について

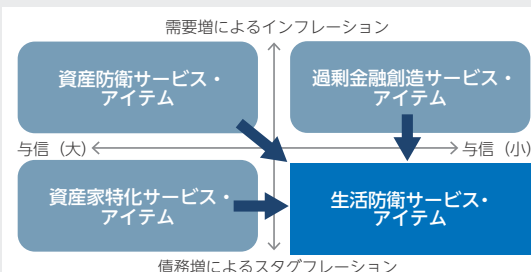
短期戦略ではクロス販売を、長期戦略ではプラットフォーム開発を強化します。

インフレが進行するなか実質所得が低下し、住宅産業は「夢の産業」から「生活防衛産業」へと移行しました。この環境変化をふまえ、当社グループでは長期、短期の2つの戦略を推進してまいります。

短期戦略としては、当社グループ最大の強みである住宅形成経路と一体化するサービス群（次ページ下部参照）を活かし、クロス販売を推進します。1軒の住宅に複数商品を提供することで、経営支援という差別化につなげ、着実に利益を積み上げます。

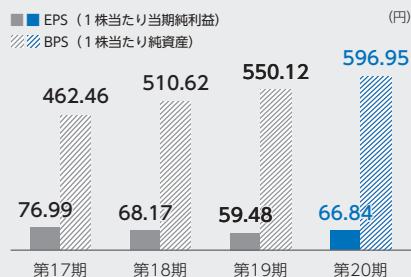
TOPICS

住宅産業は「生活防衛産業」へ移行

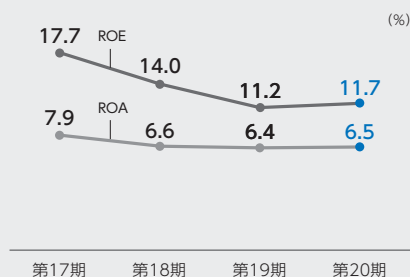


インフレの進行と金利上昇により消費者心理は大きく変化。住宅にも「生活防衛」という役割を求めています。当社グループでは、断熱・耐震改修を施した中古戸建住宅や地方の新築木造住宅等、現実的な選択肢へニーズが高まると予想。固定金利型住宅ローンやリバースモーゲージなど、対応する商品を提供し、住宅事業者への支援を強化していきます。

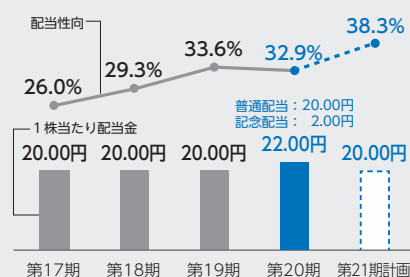
EPS（1株当たり当期純利益）※ BPS（1株当たり純資産）※



ROE（自己資本当期純利益率） ROA（総資産経常利益率）



1株当たり配当金※ 配当性向



長期戦略としては、住宅建設プロセスの抜本的改革によるコスト削減のためのプラットフォーム開発を行ってまいります。具体的には、BIM（3次元CAD）を活用し、設計情報を工場へ直接伝達し建材資材を製造、分別送金（BaaS）により中間流通を省略したお金の流れをつくり、加えて新業態「建材アSEMBル」により物流の合理化を実現します。当社グループは、従来の住宅サプライチェーンをアンバンドルし、住宅産業構造を根本から変えるプラットフォームとしてのポジションを目指して、この仕組みから金融商品の販売へとつなげていきます。

株主の皆様へのメッセージ

プラットフォームとして、新しい住宅産業の仕組みをつくってまいります。



当社グループの使命は、消費者が安心して、より安く、良質な住宅を手に入れられる仕組みを構築すること。それが住宅産業の持続性を高め、住宅事業者の経営支援につながると私は確信しています。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

TOPICS

当社グループ商品のポジショニング

当社グループ各社のサービスは、約20種の住宅ローン商品と約70種の保険・保証商品という多ジャンル・多商品の構成が大きな強みです。住宅形成経路というプロセス全体をカバーし、住宅事業を動かすインフラとなっています。

